

安城市

産学官連携  
農商工連携  
6次産業化

報告書

## 概要

本報告書は、平成26年度に、愛知県西三河農林水産事務所農業改良普及課、あいち中央農業協同組合、安城商工会議所、愛知県立安城農林高等学校、愛知県立安城高等学校、学校法人安城学園及び山崎製パン株式会社安城工場に対して行ったアンケート結果を参考に作成したものです。

本報告書において産学官連携とは、「民間企業、教育機関、公共団体がそれぞれの長所を活かし連携して実用化や商品化をする取り組み」と定義し、農商工連携とは、「農業者(※)と工業者がそれぞれの有する経営資源(栽培技術やビジネスノウハウ等)を互いに持ち寄り、新商品・新サービスの開発等に取り組むこと」と定義し、6次産業化とは、「農畜産物の生産(一次)に加え、食品加工(二次)、流通・販売など(三次)にも農業者が主体的・総合的に関わって、第二次・三次産業の付加価値を得ようとする取り組み」と定義します。

加えて、本報告書では、安城産の農畜産物が使用されている事例で平成16年度以降の活動のみ取り上げることとします。なお、表記の年度は主な活動(発売開始年度等)がなされた年度を表示しています。

※本書で農業者とは、農畜産物の生産を主な活動としている個人、世帯及び法人のことです。

## 目次

1 産学官連携	1頁
(1)高校の取り組み	1頁
(2)大学の取り組み	2頁
2 農商工連携	3頁
3 6次産業化	3頁
(1)直売所・朝市	4頁
(2)農家レストラン	5頁
(3)加工品	6頁

# 1 産学官連携

## (1) 高校の取り組み

### 愛知県立安城農林高等学校

#### ①和み(平成19年度)

神杉酒造株式会社と連携し、安城農林高校生産のうるち米「コシヒカリ」を原料に使い、食品科学科生徒が技術指導を受け甘酒を製造し、同校の文化祭、市内及び県外のイベント等で販売しました。

#### ②こもっちり(平成20年度)

山崎製パン株式会社、明治用土地改良区、黒柳製粉株式会社と連携し、米粉やイチジクを使用したこもっちり(シフォンケーキ)を開発しました。商品名やパッケージのデザインについても生徒が考え、平成20年に東海3県で販売され、1週間で6,000個が売れるなど大ヒット商品となりました。

#### ③安城農林産豚の加工品(平成20年度)

株式会社豚市と連携し、ハーブ飼育で育てた安城農林産豚の加工品(ベーコン、焼豚、ウィンナー)の販売を行いました。

#### ④あまりん(平成21年度)

山崎製パン株式会社や神杉酒造株式会社と連携し、生地には米粉と甘酒を使い、クリームにも甘酒を練りこんだ蒸しケーキ(あまりん)を製造し、平成21年11月から東海3県で販売しました。

### 愛知県立安城高等学校(ハッピーキッチン)

#### ①メロンパンサンド(平成24年度)

山崎製パン株式会社と連携し、いちじくジャム&ホイップをメロンパンの中に入れたメロンパンサンドを開発し、市内・県内のイベント等で販売しました。

#### ②南吉の青春カステラ(平成25年度～)

両口屋菓匠と連携し、安城産チンゲンサイ入り生地であんぱんを蒸した和菓子(南吉の青春カステラ)を開発し、販売しています。



南吉の青春カステラ(左記②)

## (2)大学の取り組み

### 愛知学泉大学(家政学部家政学科管理栄養士専攻)

#### ①大地の愛実シリーズⅠ(平成21年度)

おかずの松美屋、手づくり惣菜玉木屋、及び安城商工会議所と連携し、安城産の農畜産物を使用した健康栄養弁当「満菜強Ca弁当」「多彩菜弁当」を開発し、2月から1ヶ月間販売を行いました。

#### ②大地の愛実シリーズⅡ(平成22年度)

おかずの松美屋、手づくり惣菜玉木屋、安城中央商店街連盟、安城商工会議所及び安城市農畜産物特産品協議会と連携し、安城産の農畜産物を使用した健康栄養弁当「魚de良脂弁当」「ビシッと繊維弁当」の開発及び販売を行いました。

#### ③大地の愛実シリーズⅢ(平成23年度)

おかずの松美屋、おかず工房(産直センター安城南部内)、安城中央商店街連盟、JAあいち中央、安城商工会議所及び安城市農畜産物特産品協議会と連携し、安城産の農畜産物を使用した健康栄養弁当「南吉の味便り弁当」「丈山の四季菜弁当」の開発及び販売を行いました。

#### ④朝食レシピ(平成24年度)

安城市健康づくり食生活改善協議会及び安城市農畜産物特産品協議会と連携し、安城市で多く生産されている農産物の活用法を紹介した朝食レシピを考案し、地産地消のPRを行いました。同レシピには、安城の主な農産物である米、チンゲン菜、きゅうり、梨などを使った安城おにぎりや地産地消プレートがあります。

#### ⑤ミラクルGREEN(平成25年度)

安城市農畜産物特産品協議会と連携し、安城市が県下有数の産地であるチンゲン菜をPRするため、ミラクルGREEN(飲料)やこれを活用したアレンジレシピを考案し、JA産直センターや市内で開催されたイベントでレシピ集の配布や試飲等の普及活動を行いました。



安城おにぎり(上記④)



ミラクルグリーン(上記⑤)

### ⑥米粉・甘酒ゼラート(平成26年度～)

株式会社ネクスト及び安城市農畜産物特産品協議会と連携し、安城産の米消費拡大を目的として、安城産の米粒、米粉及び甘酒(神杉酒造株式会社製造)を使用した和風ゼラート(米粉・甘酒ゼラート)を開発し、12月よりデンパーク内アイスクリーム工房にて販売しています。

開発にあたって、学生の学んでいる栄養学の知識や柔軟な発想と事業者の経験が融合した商品になっています。



米粉・甘酒ゼラート(左記⑥)

### ⑦きゅうりを使ったレシピ開発(平成27年度)

安城市農畜産物特産品協議会と連携し、安城市の特産物であるきゅうりを使ったオリジナルレシピを開発しました。JAや商工会議所主催の各イベントで、レシピ集の配布や試食の提供を行い、新しい食べ方によるきゅうりの消費拡大やその栄養価に関する理解促進を図りました。



肉味噌きゅうりドライカレー(左記⑦)

### ⑧ドライいちじく、きゅうりチンゲン菜パウダーを使ったレシピ開発(平成28年度)

株式会社美炎の協力及び安城市農畜産物特産品協議会との連携のもと、ドライいちじく、きゅうり・チンゲン菜パウダーを使ったレシピ開発を行いました。開発したレシピは試食とともに各イベントで提供し、安城市の特産品の新たな活用法としてPRしました。

また、上記のきゅうり・チンゲン菜パウダーは、株式会社美炎に特別に商品化していただき、ドライいちじくと並べてデンパーク内「デキタッテ・トレタッテ」にて販売していただきました。



きゅうり・チンゲン菜パウダーとレシピ(左記⑧)

## 2 農商工連携

### ふれあい田んぼアート実行委員会

#### 田の縁(平成24年度～)

神杉酒造株式会社やコープあいち等と連携し、田んぼアートで取れたお米を使って日本酒(たの縁)を製造し、販売しています。

## 3 6次産業化

### (1)直売所・朝市

#### まちなか産直市

##### 農村生活アドバイザー

優れた能力と豊かな人間性を持ち、農村女性の先導役として県に認定された、安城市在住の農村生活アドバイザーが碧海信用金庫本店前で、毎月第4土曜日(7・8月は休市)午前9時から12時まで各家で生産した農産物を持ち寄って、産直市を開催しています。

また、農産物を使った料理の調理法のアドバイスも行っています。



まちなか産直市(左記)

#### 太陽の味

##### 太陽の味(平成22年度～)

3名の農業者と地元実需者社長が自ら栽培した農畜産物やそれを使った加工品の販売を農家レストラン&ショップ太陽の味で毎日(年始を除く)午前9時から午後6時まで行っています。



太陽の味(左記)

#### 新田ふれあいクラブ朝市

##### 新田ふれあいクラブ

新田ふれあいクラブのメンバーが新田ふれあい広場内で、毎週火曜日午前6時から9時(11月～3月は午前7時から)まで朝市を開催しています。

#### ふれあい朝市

##### ふれあい朝市

JAあいち中央三河安城支店地内で毎月第2木曜日午前8時から10時まで朝市を開催しています。

## ふれあい古井産直市

### ひばりグループ

ひばりグループが、JAあいち中央古井支店地内で毎月5日、25日午前8時から10時まで(土日の場合は翌月曜日)まで朝市を開催しています。



ふれあい古井産直市(左記)

## (2) 農家レストラン

### 太陽の味

#### 太陽の味(平成22年度～)

3名の農業者と地元実需者社長が自ら栽培した小麦を使ったうどんや野菜を使った料理を提供する農家レストラン(太陽の味)を営業しています。



太陽の味(上記)



太陽の味(上記)

### (3)加工品

## 安城ハート

#### ①いちじくグラッセ(平成25年度～)

女性農業委員経験者4名が、自ら生産したいちじくを使った加工食品(いちじくグラッセ)を自ら製造し、地元の産直センター等で販売しています。

#### ②イチジクフルーツソース(平成25年度～)

女性農業委員経験者4名が、自ら生産したいちじくを使った加工食品(イチジクフルーツソース)を自ら製造し、地元の産直センター等で販売しています。



いちじくグラッセ(上記①)



イチジクフルーツソース(上記②)



安城市  
産学官連携・農商工連携・6次産業化報告書

発行 安城市農務課  
発行日 平成29年2月